

## 8. 全学計算機システム

### 「端末の自動的なスクリーンロックとシャットダウン」

全学計算機システムの端末には、スクリーンロックおよび自動サインアウト・ログアウト・自動シャットダウンの機能が導入されている。

- ・ 端末を操作しないまま一定時間が経過するとスクリーンセーバーが起動し、スクリーンがロックされる。
- ・ ロックされた画面から元の画面に戻るためには、パスワードの入力が必要である。
- ・ ロックを解除しないで一定時間が経過すると、自動でサインアウト・ログアウトが実行される。これにより、未保存のデータは消える可能性がある。
- ・ サインアウト・ログアウト後、ユーザが誰もサインイン・ログインしていない状態でアイドル時間が一定時間に達すると、自動的に端末のシャットダウンが実行される。
- ・ ユーザが自分の操作でスクリーンをロックすることもできる。
- ・ 各々の時間の長さなどの詳細についての情報は全学計算機システムの Web ページに掲載されている。

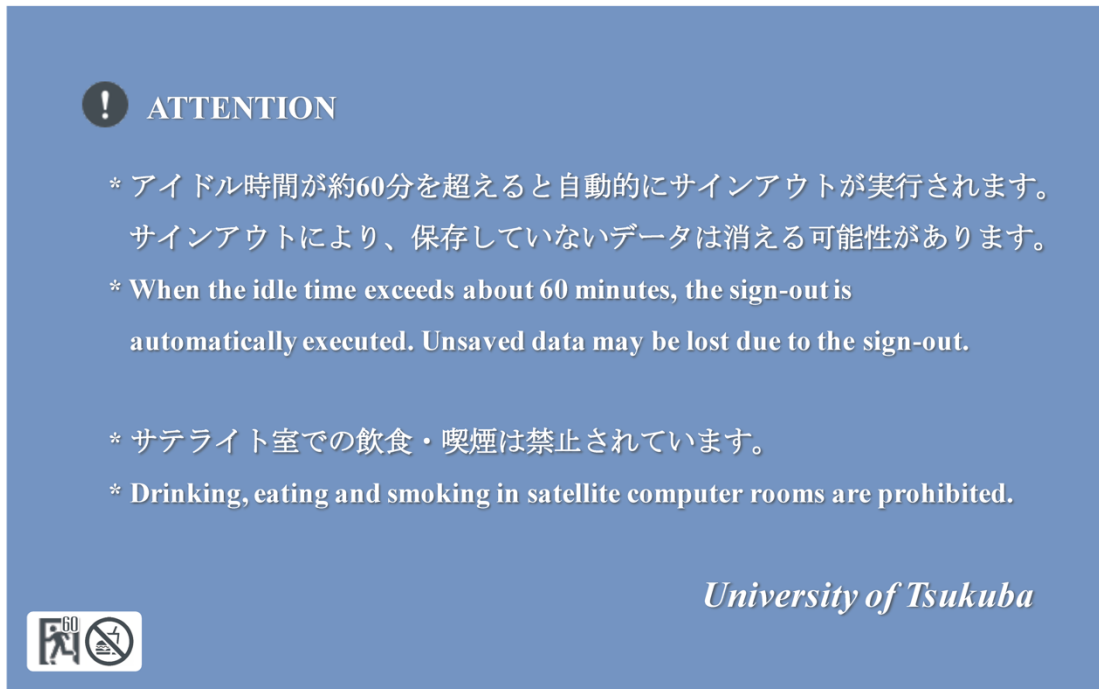


図 8.26 スクリーンセーバーで表示される画面 (Windows 環境)

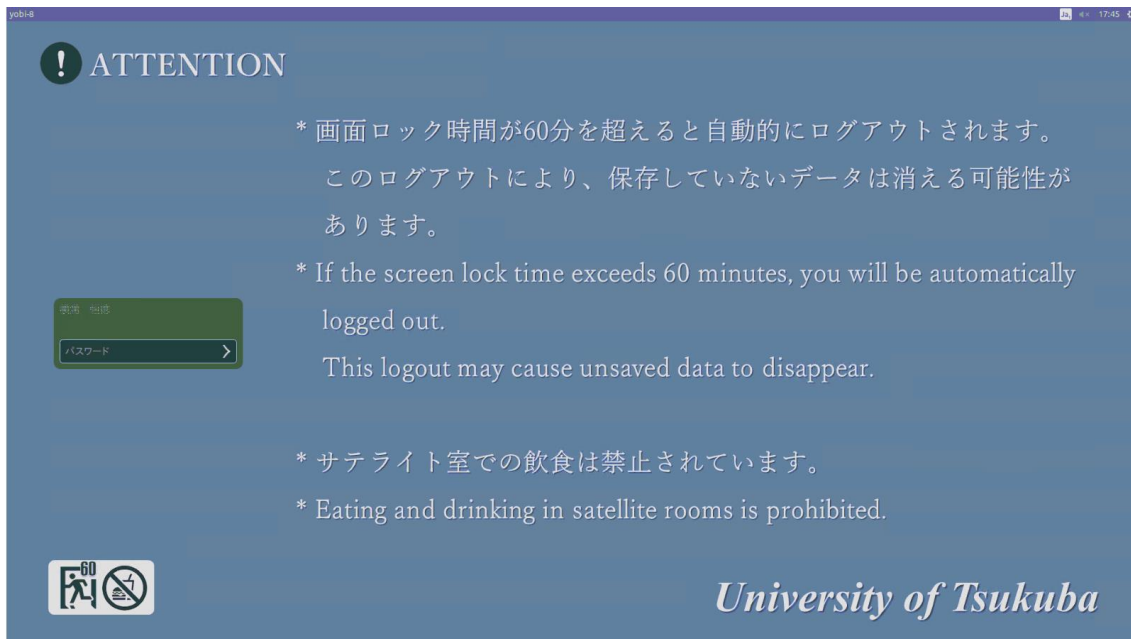


図 8.27 スクリーンセーバーで表示される画面 (Linux 環境)